

銀の風



『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。

～新しい仲間を迎えて～



- 診療科プロフィール『泌尿器科』
- 新任医師を紹介します
- 病院からのお知らせ／外来診療一覧／編集後記

新規採用職員（屋上より）

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

診療科プロフィール 『泌尿器科』

泌尿器科とは

みなさんは、『泌尿器科』って聞くと、どんなイメージをお持ちでしょうか？ 『おしっこ』のことを診るところ、受診するのがちょっと恥ずかしいといったイメージをお持ちの方が多いのではないのでしょうか？

そのイメージは『正解』ですが、それだけではありません。



写真左から泌尿器科の中村医師、初期臨床研修医の本田健医師、泌尿器科の本田聡医師

「おしっこが近い・もれる・出にくい原因となる過活動膀胱や前立腺肥大症」はもちろん、「腎臓・膀胱・前立腺・精巣などのがん」、「尿の通り道にできる結石」、「膀胱炎などの尿路感染症や性感染症」、「男性の不妊症や勃起障害」、「包茎や夜尿症といった小児疾患」、「膣から骨盤臓器(膀胱・子宮・直腸など)が脱出してくる骨盤臓器脱」、「腎臓が働かなくなってしまう腎不全そして透析」など、『泌尿器科』の診療内容は多岐にわたっています。

とはいえ、『泌尿器科』を受診される方の多くはお年寄りで、『尿のトラブル』を抱えた方です。しかし、ある調査で、慢性疾患で内科に通われている女性患者さんの4人に1人が『尿のトラブル』を抱えているにも拘らず、実際に受診される方は1割に満たないことがわかりました。

みなさんが暮らしている高齢化率40%以上の大田医療圏には、『尿のトラブル』で悩んでいる方がたくさんいると思います。

でも、「年をとったのだから仕方がない」、「泌尿器科に行くのは恥ずかしい」といった理由で受診を敬遠されている方はいらつしいませんか？ 『尿のトラブル』は『生活の質』を悪くする病気です。そして、きちんと治療することで多くの場合、改善が可能です。

当院泌尿器科について

大田市立病院の『泌尿器科』には、現在2名の医師が在籍しています。いずれも「泌尿器科専門医」という資格を持っているスペシャリストです。月曜から金曜の毎日、外来診療を行っていて、救急の患者さんにも対応しています。

旧病院では、建物の奥の方に



泌尿器科内視鏡手術の様子

あった『泌尿器科』ですが、新病院では2階のメインストリートに面した所に引っ越しました。2つの診察室、処置室、検査・測定室がメインストリートから奥に向かってあります。旧病院には処置室と検査・測定室がなかったため、他の診療科の空部屋を間借りして処置や残尿測定を行い、狭い空間で検査をすることが多く不便でしたが、新病院になり患者さんにとって移動が少なく、楽な体勢で対応できるようになりました。また、検査機器も新しくなりました。

その1つは検査・測定室の中にある「トイレ」です。このトイレはそんなところのトイレとはわけが違います。一見普通のトイレに見えて、実は尿流量測定機能を兼ね備えている優れたものです。『泌尿器科』では、内科での聴診並みに？排尿状態を評価しますが、これまでの測定装置はいかにも検査機器っぽく、診察室に隣接した狭い空間に設置されていたので、緊張して普段通りに排尿できない患者さんが多くいました。この新兵器の導入で患者さんにとって優しい検査が可能になりました。

お気軽にご相談を

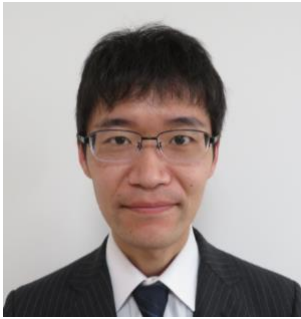
『泌尿器科』での治療は、生活指導などの行動療法、薬物療法、手術療法があります。当院では、手術件数が外科に次いで多く、昨年度は114件の手術を行いました。一般的に受診しづらいと言われる『泌尿器科』ですが、新病院では少しでも受診しやすいよう配慮しております。誰にも相談できず人知れず悩んでいる方、「日常生活を快適にする」ためにも、お気軽にご相談ください。

泌尿器科／

大田総合医育成センター外科系教授

ほんだ さとし
本田 聡

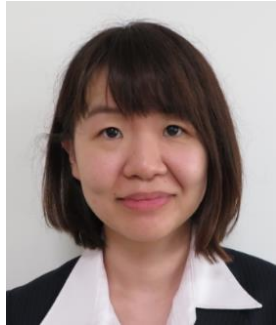
常勤医



大田総合医育成センター
(呼吸器内科)

はまぐち しゅんいち
濱口 俊一 医師

呼吸器内科・一般内科医
として皆様のお力になれる
よう頑張ります。



呼吸器内科 医長

たの あかり
谷野 明里 医師

呼吸器内科・内科全般
で患者さんのお力になれる
よう真摯に努力して
参ります。



リハビリテーション科 医長

いしはら ひろき
石原 弘基 医師

温かみの感じられるリハ
医療が提供できるよう尽
力いたします。



産婦人科 医長

おおにし かおり
大西 薫 医師

産婦人科医として皆様
のお役に立てるよう頑
張ります。よろしくお
願いいたします。

初期臨床研修医



いしだ なおや
石田 直也 医師

着実に力を身につけ
多くの方のお役に立
てるよう努力します。



しまだ なおひで
島田 直英 医師

大田市民の皆様の健
康に貢献できるよう
頑張ります。



ふじもり たいち
藤森 太一 医師

真摯に励み、患者様、
職員の皆様に信頼して
いただける医師となれ
るよう、努力して参り
ます。

**令和3年4月1日
に新たに着任した
医師7名を紹介し
ます！**

病院からのお知らせ

寄付金をいただきました

長久・鳥井町の青年有志の皆さまで結成された「元気を打ち上げ隊」実行委員会様より、打ち上げ花火の協賛金で発生した余剰金を院内保育所へご寄付いただきました。「寄付金は園児のために使ってほしい」という想いから園児が保育所で使うおもちゃなどを購入しました。

地域の皆さまからの温かいご支援に心より感謝いたします。



写真左 実行委員長代理 土江 隆文 様

臨床実習指導施設に認定されました

この度、リハビリテーション技術科作業療法部門では、一般社団法人日本作業療法士協会が設けた臨床実習指導施設認定制度の認定を取得しました。

作業療法学生の臨床実習指導に関する一定の知識と技術、指導実践を有する施設として認められたこととなります。（厚生労働省指定臨床実習指導者講習会修了者6名在籍）

ACLS講習会を開催しました

このほど、院内ACLS講習会を開催し、若手医師5名が受講しました。

ACLSとは、医師を含む医療従事者のチームによって行われる心肺蘇生法の訓練



であり、いつ・どのような時でも素早く状況判断を行い、患者救命のためにそれぞれの役割を果たすことが重要です。

今回は、筆記・実技とも参加者全員が合格し、無事ACLS資格を取得することができました。

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。



大田市立病院
大田総合医療センター
大田市民病院



facebook いいね!
大田市立病院

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永1428-3

TEL: 0854-82-0330

FAX: 0854-84-7749

外来診療一覧

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

令和3年5月6日 現在

診療科	月	火	水	木	金
内科	●	●	●	●	●
神経内科	●		●		
呼吸器内科	●	●			●
消化器科		●		●	
循環器科		●	●	●	
メンタルヘルス科				○	
小児科	●	●	●	●	●
外科	●	●	●	●	●
整形外科	●※1	○	●※1	○	●※1
脳神経外科			●	●	●
皮膚科	●※2	●	●	●	●
泌尿器科	●	●	●	●	●
産婦人科	●	●	●	●	●
放射線科		●		●	
ペインクリニック	●		●	●	●
眼科	●※3			●※3	●※3
耳鼻咽喉科		●		●	
総合診療科		●		●	
リウマチ外来	○			○	
腎臓内科		○			
血液・腫瘍内科			●	●	
ペースメーカー外来					○※4
小児神経外来				○※5	
小児心臓外来		○			
発達障害外来				○※6	
乳児健診		○			
小児予防接種					○
緩和ケア				○※7	
乳がん検診					○※8

【受付時間】

8:30~11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

※1 予約券をお持ちの方は 8:30~15:30

(初診の受付を制限する場合があります)

※2 隔週で午後の診察(13:15~15:00)もあります

※3 初めて受診される方は 8:30~10:30

※4 第2金曜日14:00~16:00

※5 第1木曜日 ※6 第1または第2木曜日 ※7 第3木曜日

※8 第2・第4金曜日

第1・第3火曜日・木曜日にレントゲン撮影があります

編集後記

新年度が始まり新しい仲間を迎え、少しテンションが上がっている、今日この頃です。

5月に入り新病院に移転してから、1年がたちました。旧病院もきれいに取り壊され、長年働いていた私は、少しさみしい気がします。しかし、今は工事中ですが、これから駐車場も整備され、調剤薬局の建物も出来るそうです。どのようになるか、完成が楽しみです。

まだまだコロナが収束しそうにありませんが、手指消毒やマスク着用を徹底してコロナに感染しないように気を付けましょう。

(R・N)

